

企画名	緑のカーテンを作ろう！2017
実施団体	団体名 我孫子市消費者の会 問合せ先 加藤マリ子 TEL: 04-7105-5292 Email: kato_mariko@hotmail.com ホームページ: http://www.abikoshi-syouhisyanokai.net/wp/
目的	緑のカーテンをすることにより、夏を節電で快適に過ごせることを普及させる。 又、水の大切さを知ってもらい、環境への負荷をかけない暮らしを意識してもらう。
日時	2017年5月6日(土) 14:00~16:00 我孫子南近隣センター ホール
プログラム・概要・ルート等	①「水と私たちの暮らし」(川野美津子) 水は暮らしに欠かせない貴重なもの。手賀沼が汚れていた頃の上下水道、その後の努力で改善された上下水道の話。未来に責任のある現在の暮らしについての注意と心構え。 ②「緑のカーテンを作ろう！」出席者は初心者から数年の経験者まで様々。基礎編はパワーポイントで行った(加藤)。前半のポイント(土づくり、水やり、支柱とネットはり、摘心と誘引)、後半のポイントは(水やり、受粉、追肥)を説明。植え過ぎないことも強調。 達人編は中村公陽氏が20年の経験を生かして話をし、その後相談に応じた。 <質問> 摘心はどこを?3年目から収穫が少なくなったが、なぜ? 虫がついたが、何の虫?種をとるには?ゴーヤの種類は?など。堆肥等が土の上に出ている時は、虫が集まりやすいので土をかぶせることも重要だと分かった。 ③緑のカーテンコンテストへのお誘い(深山) ⑤ゴーヤの苗を2本ずつ配布。
参加対象	一般
参加人数	一般参加 71名(大人70名、小学生1名) 会員スタッフ14名(会員12名、講師2名) 計85名
参加者や実施団体の感想	少し声が高音の川野さんのお話は聞きやすく、分かりやすかった。我孫子は行政が油の回収をしていること等を高く評価してくれたので我孫子市民は嬉しかったと思う。中村氏の長年の経験からのアドバイスには説得力があった。カーテンコンテストの写真がたくさん掲示され、作ろうという気持ちを高めてくれた。申し込みをしたのに来なかった人も17名いたが、当日参加者も21名と多かった。苗は全員に配布できた。

企画名	冬水田んぼで田植えをしよう
実施団体	団体名 NPO 法人手賀沼トラスト 問合せ先 富沢 崇 TEL: 090-2234-5610 Email: info@teganuma-trust.jp ホームページ: http://teganuma-trust.jp
目的	生態系保全型の冬水田んぼで、田植え・かかし作り・稲刈りを体験してもらう連続企画の第1弾。地域住民の力で里山を保全します。
日時	2017年5月20日(土) 8:30~12:00
プログラム・概要・ルート等	冬でも水をはっておく冬水田んぼは、田んぼをめぐる生きものにやさしい田んぼです。そんな生態系保全型の田んぼで、子供たちを含む地元住民の参加を得て、田植えをしました。 12家族、39名の一般参加者は、古代米の一種の黒米を植えました。掛け声にあわせて、泥だらけになりながら苗を植えました。
参加対象	一般市民
参加人数	一般参加 101名(会員62名、外部参加者:大人16名、幼児17名、小学6名) スタッフ 10名



子どもながらに見事な腕前です。



わたちだって植えられるよ。






泥んこ遊びが始まりました。



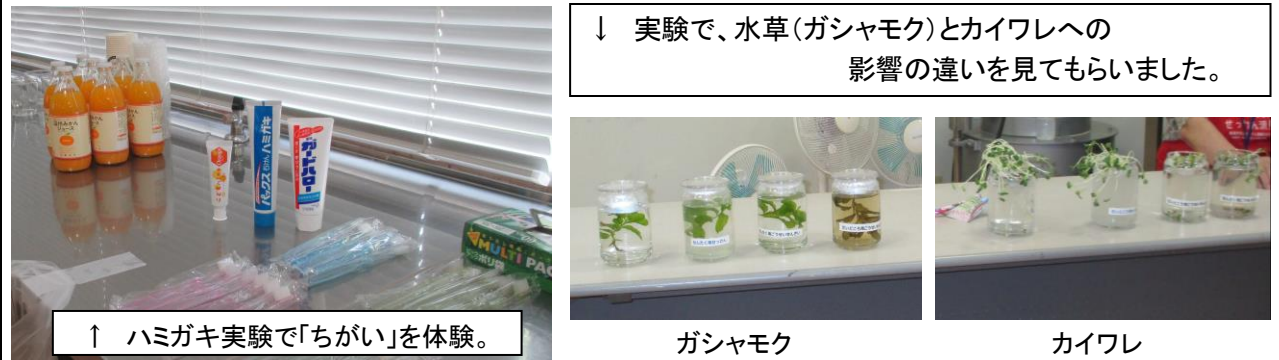
JCOMのお姉さんが取材に来てくれました。

参加者や実施団体の感想	土がぬるぬるで気持ち良かった(気持ちよかった)。(小学校1年生) ザリガニに足をかまれそうで怖かった。(小学校1年生) 楽しかった。またやりたい。(幼稚園年中さん)
-------------	--

<p>企画名</p>	<p>手賀沼にいのちのにぎわいを！ 「手賀沼周辺の生きものぬり絵を楽しもう」</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 我孫子市環境レンジャー 問合せ先 問合せ先 間野 吉幸 TEL: 080-3410-8119 Email: mano@sonata.plala.or.jp</p>
<p>目的</p>	<p>手賀沼周辺の身近な生き物（野鳥、蝶、蜻蛉）のぬり絵を通して感じて貰い、併せて、生き物が生息できる環境の大切さを醸成する。</p>
<p>日時</p>	<p>2017年6月3日（土）10：30～15：00、6月4日（日）9：30～15：00</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>■水の館オープニングイベントに参加。 ■プログラム (1) 会場にテーブル（3脚）と椅子（24脚）を置き、そこで子ども達や大人に野鳥6種、蝶2種、蜻蛉2種計10種類の中から選んでぬり絵をして貰う。 (2) ぬり絵参加者には漏れなく特製「野鳥カード」をプレゼントした。野鳥カード欲しさに何枚もぬり絵を画く子も見られた。 (3) パネル4枚で我孫子市環境レンジャーの活動を紹介した。 (4) 提供された「水切りネット」「油とり」「環境フォルダー」「手賀沼のいきものリーフレット」「環境レンジャー情報誌」などを使い、口頭説明も行い手賀沼を汚さないPRをした。</p>
<p>参加対象</p>	<p>幼児からシニアまでどなたでも。</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般参加 542名（大人 220名、子ども 322名） 会員スタッフ 16名（会員 14名、手伝い 2名）</p>
 	<p>親子でぬり絵を楽しんでいました。</p> <p>沢山の大人がぬり絵に取り組んでいました。</p>  <p>真剣な表情でぬり絵を選んでいる児童、完成したぬり絵を見せる児童。</p>
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>声掛けすると大人も子どもも興味を示しぬり絵に参加した。特に子どもは野鳥カード欲しさに保護者を誘い込む光景が沢山見られぬり絵を楽しんでいた。沢山の種類の野鳥カードを選ぶのに目を輝かせ悩みながら選ぶ姿が印象的であった。多くの方が野鳥に関心があることを実感した。</p>

<p>企画名</p>	<p>冬水田んぼでかかし祭り</p>										
<p>実施団体</p>	<p>団体名 NPO 法人手賀沼トラスト 問合せ先 富澤 崇(事務局) TEL: 090-2234-5610 Email: info@teganuma-trust.jp ホームページ: http://teganuma-trust.jp</p>										
<p>目的</p>	<p>生態系保全型の冬水田んぼで、田植え・かかし作り・稲刈りを体験してもらう連続企画の第2弾。かかし作りを通して、自然と共生する米作り・地域作りを身近に感じてもらう。</p>										
<p>日時</p>	<p>① かかし作り 2017年7月15日(土) 9:00~12:00 ② かかし祭り 2017年8月19日(土) 9:00~12:00</p>										
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>5月に田植えをした冬水田んぼのために、7月15日にかかしを作りました。8体のかわいいかかしができました。 かかし祭りでは、トラスト会員が作ったかかしなどとあわせて16体のかかしのコンテストを行いました。また、遠藤会長から、古事記に見る「かかし」の由来や、冬水田んぼがなぜ生態系を守るのかなどのお話がありました。一般市民の部の中から、金賞1、銀賞1、銅賞1が選ばれ、入賞者には後日、新米が配られます。</p>										
<p>参加対象</p>	<p>一般市民</p>										
<p>参加人数</p>	<p>① かかし作り 一般参加41名(大人9名、幼児2名、小学9名、会員21名)、スタッフ14名、 ② かかし祭り 一般参加55名(大人8名、幼児6名、小学10名、会員31名)、スタッフ13名</p>										
<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td data-bbox="199 1126 657 1473" style="text-align: center;">  </td> <td data-bbox="689 1182 762 1429" style="text-align: center; border: 1px solid black;"> 今年も入賞するぞ。 </td> <td data-bbox="801 1126 1259 1473" style="text-align: center;">  </td> <td data-bbox="1291 1149 1412 1429" style="text-align: center; border: 1px solid black;"> できたぞー！ かかしと製作者たち </td> </tr> <tr> <td data-bbox="199 1485 657 1832" style="text-align: center;">  </td> <td data-bbox="689 1507 762 1809" style="text-align: center; border: 1px solid black;"> どれに投票しようかな？ </td> <td data-bbox="801 1485 1259 1832" style="text-align: center;">  </td> <td data-bbox="1291 1529 1374 1776" style="text-align: center; border: 1px solid black;"> やっぱりかき氷！ </td> </tr> </table>					今年も入賞するぞ。		できたぞー！ かかしと製作者たち		どれに投票しようかな？		やっぱりかき氷！
	今年も入賞するぞ。		できたぞー！ かかしと製作者たち								
	どれに投票しようかな？		やっぱりかき氷！								
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>かかし作りには、4家族と1団体が参加し、8体のかかしを作りました。毎年参加して下さる家族もあり、なれた手つきで要領よくかかしを作る様子も見られました。 かかし祭りは雨が心配されましたが、無事開催することができました。やはり毎年参加している家族が上手で、入賞しました。「南新木のおうち」は今年はみごと金賞を獲得しました。 両日ともJCOMが取材に来てくれました。</p>										

企画名	手賀沼をもっときれいに！-せっけんいろいろ実験&体験-
実施団体	団体名 我孫子市石けん利用推進協議会 問合せ先 我孫子市消費生活センター TEL: 04-7185-1469
目的	手賀沼の水質悪化の大きな原因の一つは、家庭排水とりわけ合成洗剤の多用であった。それに気がついた市民(団体)からの請求によって、我孫子市は全国で唯一石けん利用に関する条例を持っている。下水道の整備が進んだ今も生活排水は水環境に大きな影響を及ぼしていること、さらにさまざまな実験や体験を通して「 家庭でせっけんを使うことの意義 」を伝える。
日時	2017年7月22日(土) 1回目 10:30~12:00、2回目 13:00~14:30
プログラム・概要・ルート等	<ul style="list-style-type: none"> ・ せっけんの優れているところを知らせる。 ・ ブラックライトで蛍光増白剤を見る。 ・ 合成洗剤にはP R T R法で指定されている成分が含まれていること、家庭から排出される指定物質の60%以上は合成洗剤が占めることを伝える。 ・ ハミガキ実験で、せっけんと合成洗剤の違いを体験する。 ・ DVD鑑賞：ミドリゾウリムシへの合成洗剤の影響、まとめのDVD“私たちに何ができるのかな？”を見る。 ・ 手賀沼の生き物とせっけんの関わりをガシャモク・カイワレ実験で見る。 ・ お皿汚れのふきとり体験をする。
参加対象	親子(5年生以上は単独参加可)
参加人数	一般参加 47名(大人22名、小学生23名 幼児2名) 会員スタッフ 10名(協議会委員8名、市職員2名)



参加者や実施団体の感想	<p>【参加者の感想】</p> <p>○子どもの夏休みの自由研究にと思い参加しましたが、普段の生活に役に立つ事を色々教えて頂いたので、大人も楽しめました。</p> <p>○手賀沼の事も良くわかって勉強になりました。合成洗剤が環境に良くないと子どもにもわかりやすかったと思います。ただ、洗濯用の洗剤や歯みがき粉などの及ぼす人体への影響ももっと取り上げていいのかと思いました。</p> <p>○あまり考えずに合成洗剤を使用していましたが、意識して石けんを使ってみようと思いました。</p>
--------------------	---

企画名	カブトムシを探そう、クワガタを探そう
実施団体	団体名 船戸の森の会 問合せ先 奥村 賢治 TEL: 04-7183-1214 Email: nanao@k2.dion.ne.jp (七尾)
目的	船戸の森を通して、地域の子どもと大人と一緒に、カブトムシ・クワガタを探すことで、自然を大事にすることと、生命の尊さを実感するとともに、家族のコミュニケーションを深める。
日時	2017年7月30日(日) 10:00~12:00 船戸の森
プログラム・概要・ルート等	① 船戸の森の自然観察とカブトムシ・クワガタ探しをする。 ② カブトムシ・クワガタに関するクイズにより、知識を習得する。 ③ 参加者全員に、会員飼育のカブトムシをプレゼントする。 ④ 参加者に抽選でクワガタをプレゼントする。
参加対象	地域の子どもと大人
参加人数	一般参加 51名 (大人 21名、幼児 9名、小学 20名、中学 1名) 会員スタッフ 18名 (会員 14名、講師 1名、手伝い 3名)



クイズだよ、わかるかな。




さあ、どこにいるかな？！





わあ、もらったよ!!

参加者や実施団体の感想	<p>受付初日の10時には定員に達するほどの大人気で、参加者51名と大盛況でした。今年もカブトムシの寄贈をいただき、講師提供と合わせて、子どもたちに充分配分できました。</p> <p>カブトムシ・クワガタを入れた、虫かごを持って帰る子どもたちの顔はイキイキと輝いていました。この催しによって、参加者は「自然・森の大切さ、小さな命の大切さ、家族の絆を確かめ合うこと」など、学ぶことがたくさんあったのではと思います。そして私たちも、子どもたちから、純粋さと元気をもたらすことができました。</p>
-------------	--

企画名	冬水田んぼで稲刈りをしよう
実施団体	団体名 NPO 法人手賀沼トラスト 問合せ先 富澤 崇(事務局) TEL: 090-2234-5610 Email: info@teganuma-trust.jp ホームページ: http://teganuma-trust.jp
目的	生態系保全型の冬水田んぼで、田植え・かかし作り・稲刈りを体験してもらう連続企画の第3弾。 みんなで田植えをし、かかしに守ってもらったお米を収穫します。
日時	2017年9月9日(土) 8:30~12:00
プログラム・概要・ルート等	一般参加者は古代米を、手賀沼トラストの会員はうるち米を刈り取りました。 稲刈りに飽きた子どもたちは、イナゴ採りコンテスト。イナゴ・カマキリ・コオロギ・バッタ、たくさん採りました。 蒸し暑いなか、古代米とうるち米の刈り取りは終わりましたが、もち米の刈り取りは翌週にしました。 かき氷が大人気。何杯もお代わりをした子どももいました。 JCOMが取材に来てくれました。
参加対象	一般市民
参加人数	一般参加 60名(大人16名、幼児7名、小学7名、会員30名)、スタッフ15名
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">わたちでも稲刈りできるよ！</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">かかしさん、稲を守ってくれてありがとう。</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">かき氷のお替わり、何杯め？</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">イナゴは何匹？ カマキリは？</p> </div> </div>	
参加者や実施団体の感想	雨つづきの天候の中、ぽかっと訪れた晴天。子どもたちが虫採りに興ずるなか、順調に作業ができました。かき氷もふるまわれ、5杯もお替わりをした子もいました。子どもたちに聞くと、面白かったのは「虫採り」だそうです。

<p>企画名</p>	<p>手賀沼親子体験ヨット乗船会（我孫子）</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 NPO 法人 アルバトロスヨットクラブ 問合せ先 森 康行 TEL: 04-7187-2499 Email: yasuyuki_mori@jcm.home.ne.jp ホームページ: http://aycabiko.web.fc2.com/</p>
<p>目的</p>	<p>セーリングを体験しながら手賀沼に親しむ機会を提供する。 セーリングを通して初歩の帆走技術を習得する</p>
<p>日時</p>	<p>2017年9月23日（土）9:30～16:30</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>前日準備 AD搬入、柏市管理2艇を陸路搬入。 8:00 運営スタッフ全員漁協棧橋前集合、役割分担について説明。 8:45 役割分担に基づき、各自、準備。 我孫子市管理のAD2艇をみずすまし号にのせて運搬。 9:00 AD4艇、シカーラ3艇の艀装準備、救助艇2艇、みずすまし号出動準備。 9:15 午前の部受付開始、15分の待ち時間の間、運営スタッフがライフジャケットの着装指導。 9:30 午前の部体験乗船開始。 参加者の乗船時間 15分 15:30 午後の部も午前と同様のサイクルを繰り返し終了。 15:45 艇の艀装解除、装備品の整理、棧橋より艇の搬出。 16:30 運営スタッフ全員解散。我孫子市管理AD2艇、みずすまし号に載せて運搬。 9月25日 柏市管理2艇を柏中央体育館へ陸路返却。</p>
<p>参加対象</p>	<p>市内居住の小・中学生と保護者。中学生以上は単独参加可能。</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般参加 148名（小学生70名、幼児8名、大人70名）、運営スタッフ23名</p>
	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夜中から朝方にかけてかなりの雨が降っていたので、明日に延期するか否か難しい判断の中実施したところ、乗船する頃には雨も上がり予定通り実施することが出来てホッとしました。 ・ 当日は、4～5メートルの風が吹いていたので、乗船した参加者はスリル満点で親子そろって興奮気味でした。特に、シカーラに乗船したお父さん・お母さんは、どなたもお尻が濡れてしまい興奮気味でした。

企画名	手賀沼の歴史景観をみよう	
実施団体	団体名 我孫子の景観を育てる会 問合せ先 木村 靖弘 (歴史景観担当) TEL: 04-7184-69711 Email: kimuyasu69@nifty.com ホームページ: http://www.geocities.jp/abikokeikan/	
目的	手賀沼の現状、江戸・明治以降の干拓の歴史と現在の手賀沼の状況のつながり。	
日時	2017年9月30日(土) 9:00~11:30	
プログラム・概要・ルート等	9:00 アビスタ公園口に集合 9:20 遊覧船に乗船、柏側に少し西航した後、Uターンし、手賀大橋の下を航行し、東端のフィッシングセンター前に向かう。 手賀沼の現状と人の住み始めた、古墳時代、江戸時代の干拓事業、明治以降の白樺派活躍の時代、戦後の干拓事業とその影響、外来植物の増加等を説明。 10:00 フィッシングセンター前で下船。水門、柏側緑道見学、トイレ休憩 10:40 フィッシングセンター前から乗船。 ハスの多いところを航行、沼の汚染の現状と改善対策、流域に生活した人々(古墳時代から戦前まで)、我孫子ゆかりの人々を説明 往きと反対の柏側を航行。 アンケート記入 11:30 手賀沼公園ボート乗り場に帰着、アンケート回収、解散	
参加対象	どなたでも	
参加人数	一般参加 32名(大人30名、幼児1名、大学1名) 会員スタッフ 5名、外部講師 1名	
	 <p>アビスタ前集合</p>	 <p>大橋下部の構造美</p>
	 <p>柏側緑道で説明</p>	 <p>図を使って説明</p>
参加者や実施団体の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・緑の丘が続く我孫子の景観を水上から見て、さらに松村さんの幅広い知識に基づく古代から現代に至るガイドを聴き、手賀沼の理解がすすみ、我孫子の良さをした。 ・ハスや外来植物の増殖を心配する人が多かった。 ・皆さん、時間どおりで、マナーもよく、ガイドの説明も熱心に聞いて時折、笑いも起きていた。アンケート結果でも皆さんが楽しんでくれたようで満足しています。 	

<p>企画名</p>	<p>手賀沼賞 エコ・こども教室</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 我孫子市環境レンジャー 問合せ先 間野 吉幸 TEL: 080-3410-8119 Email: mano@sonata.plala.or.jp</p>
<p>目的</p>	<p>我孫子市の小・中学校の生徒を対象に教育委員会学校指導課主催の「科学作品展」の中から選ばれた「手賀沼賞」受賞作品を取り扱った公開教室の企画。 子どもたちに発表機会を設けると共に、多くの人たちに作品の成果を広める。</p>
<p>日時</p>	<p>2017年10月15日(日) 9:30~15:00 アビスタ第1学習室&ストリート</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>【口頭発表大会】アビスタ第1学習室 9:30~12:00 ①我孫子市小・中学校夏休み科学作品展受賞17作品の中から、発表5作品を選び、その研究成果をプロジェクターで発表した。 ②発表内容についてコメンテーターが講評した。 ③発表者には表彰状(A3版)、発表作品概要(A1版)、図書カードを授与した。</p> <p>【エコクイズ大会】アビスタストリート 9:30~15:00 ①発表作品をアビスタストリートに展示し作品内容を題材にしたクイズを実施した。スタッフがクイズ解答へのアドバイスを実施した。 ②クイズ参加者全員にパウチした名刺大の特製野鳥カードをプレゼントした。 子ども達は野鳥カード欲しさに積極的に親と一緒にクイズに参加した。</p>
<p>参加対象</p>	<p>子どもと保護者</p>
<p>参加人数</p>	<p>参加者 664名(発表会 56名、クイズ大会 608名) スタッフ 14名 合計 678名</p>
 <p style="text-align: center;">口頭発表大会</p>	
 <p style="text-align: center;">エコクイズ大会</p>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫した発表と研究内容に聴衆者はその熱意と地道な努力に感激したとの発言。 ・クイズに参加した子ども・保護者は、展示作品の研究内容の素晴らしさに感心。 ・「手賀沼賞 エコ・こども教室」を円滑に開催することができ、発表者本人、保護者、学校の全面的な協力が得られたことに感謝します。参加者全員が喜んでくれたことは嬉しい。エコクイズに多くの親子・友達が参加し作品内容の理解を深めてもらうことができました。

<p>企画名</p>	<p>手賀沼親子ふれあい探鳥会 ～親子で手賀沼周辺の山野の鳥と水辺の鳥を楽しもう～</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 我孫子野鳥を守る会 問合せ先 間野 吉幸 TEL: 080-3410-8119 Email: mano@sonata.plala.or.jp ホームページ: http://abikoyacho.org/</p>
<p>目的</p>	<p>◆探鳥の楽しさを知って貰う。 ◆野鳥観察を通し、自然に親しみ、自然を知る。</p>
<p>日時</p>	<p>2017年12月2日(土) 9:30～12:30 手賀の丘公園～手賀沼</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>①手賀の丘公園と手賀沼南岸の探鳥好適地で、スコープや双眼鏡で野鳥を観察する。 ②ベテランの我孫子野鳥を守る会の会員が野鳥を見つけ、スコープで身近に野鳥の姿を観察して貰う。スコープで見る野鳥の素晴らしさを堪能して貰う。 ③その上で観察した野鳥の特徴を踏まえ識別の仕方を説明。 ④野鳥は出現する場所によって野鳥の種類が異なる理由などを説明。 ⑤野鳥観察を通して、楽しみながら私たちの住んでいる自然環境を観察する目を養う。 ⑥最後に観察した野鳥の記録をする。ビンゴ賞として野鳥カード・野鳥塗り絵プレゼント。</p>
<p>参加対象</p>	<p>子どもと保護者を含め何方でも</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般参加 36名(大人29名、幼児2名、小学5名) スタッフ5名(会員5名)、合計 41名</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>探鳥会に参加された皆様</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>山野の野鳥を探しています。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 5px;">手賀沼に訪れた沢山の水鳥を堪能し、スコープによる野鳥の姿に感激していました。</p>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当日は風もなく好天に恵まれた絶好の探鳥日和で、山野の鳥 28 種と水辺の鳥 20 種、合計 48 種の野鳥を観察しました。今年は例年にない沢山の水鳥が見られました。 ・ スコープで遠くの野鳥が間近に観察出来、感激して、子どもも大人も全員「良かった、楽しかった」等を異口同音に話していました。 ・ 鳥合わせの後、野鳥ビンゴの結果に応じた当会特製の「野鳥カード」や「塗り絵セット」のプレゼントは今年も好評で、子どもも大人も喜んでいました。 ・ 今年も昨年同様の市民の皆さんが参加して大盛況でした。参加者の感激感動は、実施団体として何よりの励みになりました。